

研究名 C型肝炎に対するレジパスビル+ソホスブビル併用療法の治療成績（多施設共同研究）

直接作用型抗ウイルス薬による治療でC型慢性肝炎・代償性肝硬変患者における治療効果とC型肝炎ウイルス排除後の肝細胞癌発癌の危険性を検討する目的で、2016年～2021年の間に当院にてレジパスビル+ソホスブビルによる治療を受けた患者を対象として、診療録から個人を特定できない形式で疾患名、検査成績、薬剤投与状況、治療後の発癌状況などの情報を用いた調査、研究を行っております。診療情報の使用を希望されない方や、ご不明な点がございましたら、肝臓科（小林智夫）にご連絡下さい。